

## ゆるやかな起業<sup>(※)</sup>の実態と課題

～「起業と起業意識に関する調査（特別調査）」結果から～

I	調査目的と実施要領等	1
II	調査結果	
1	ゆるやかな起業家の属性	3
2	事業の状況	6
3	起業に対する評価	12
III	まとめ	16

(※)「ゆるやかな起業家」の定義はp.1を参照

<問い合わせ先>  
日本政策金融公庫 総合研究所  
小企業研究第一グループ  
TEL 03-3270-1687  
担当 桑本、青山

# I 調査目的と実施要領等

## 1 調査目的

副業やフリーランスなど起業のかたちの多様化に伴い、開業の目的として、収入の増加や家計の維持よりも、自己実現を図ること自体を重視する起業も増えることが予想される。そこで、本調査では①仕事の収入の多い少ないにこだわらず、②仕事の目的として「自分の好きなことを自分でやること」を重視する開業者を「ゆるやかな起業家」と呼び、その他の起業家および勤務者（起業家を除く）と比較・分析し、今後の起業動向を把握するとともに、起業支援のあり方を考えるうえでの材料にしたい。

## 2 実施要領

### (1) 調査時点

2018年9月

### (2) 調査対象

全国の18歳から69歳までの男女

### (3) 調査方法

インターネットによるアンケート（事前調査と詳細調査の2段階）

インターネット調査会社から登録モニターに電子メールで依頼し、ウェブサイト上の調査画面に回答者自身が回答を入力。

① 事前調査 … 本調査の調査対象に該当するかどうか等を判別するための簡易なアンケート

② 詳細調査 … 調査対象の該当者に対して行う詳細なアンケート

### <調査対象の選別方法>

事業経営経験の有無	現在事業を営んでいる	自分が開業したか	自分が開業した事業である	開業年	2012年以前
	事業を経営したことはあるが、廃業や退任等によりすでにその事業に関わっていない	勤務収入があるか	自分が開業した事業ではない	開業年	2013～18年
			ない	ない	
事業を経営したことはない	ある（パート・アルバイトとしての収入を含む）	ある	ある		

「勤務者」

### <「ゆるやかな起業家」の定義>

		②仕事の目的として、「自分の好きなことを自分でやること」を重視するか	
		重視する	重視しない
①仕事の収入の多い少ないにこだわるか	こだわる	起業家 (n=691)	ゆるやかな起業家 (n=295)
	こだわらない		

### <回収数>

	事前調査	詳細調査		
		分析対象	比較対象①	比較対象②
		ゆるやかな起業家	※ゆるやかな起業家を除く 起業家	※パート・アルバイトを含む 勤務者
合計	18,206	295	691	1,494
A群	14,243	96	335	1,494
B群	3,963	199	356	0

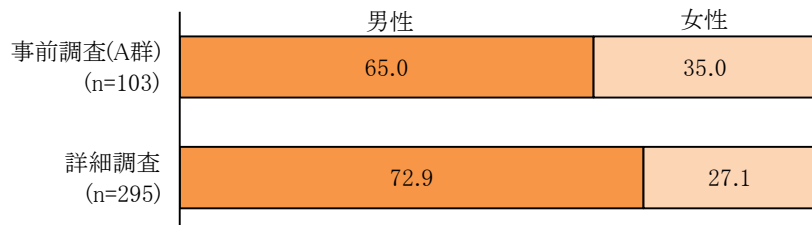
- (注) 1 事前調査（A群）の調査対象は、性別、年齢階層（10歳きざみ）、地域ブロックの割合が人口構成に準拠するように、回収数を設定した。  
 2 事前調査（B群）は、「起業家」のサンプル数を確保するために、その出現率が高いと思われる属性をもつ人に対して行ったものである。  
 3 ゆるやかな起業家の定義の選択肢は、「大いにこだわる」と「多少こだわる」を合算して「こだわる」、「こだわらない」と「あまりこだわらない」を合算して「こだわらない」、「最も重視する」と「ある程度重視する」を合算して「重視する」、「重視しない」と「あまり重視しない」を合算して「重視しない」とした。  
 4 比較対象の「起業家」には、分析対象の「ゆるやかな起業家」を含まない。「勤務者」にはパート・アルバイトを含み、現在も勤務している起業家は含まない。

### 3 回答者の概要

#### (1) 性別

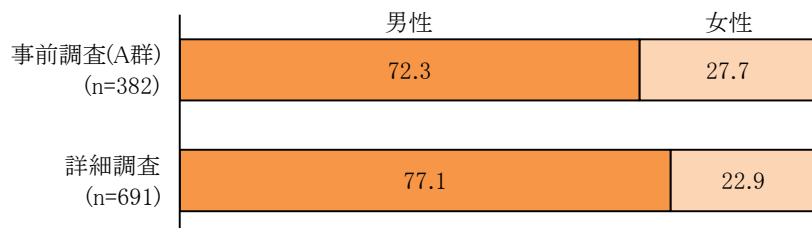
##### ① ゆるやかな起業家

(単位：%)



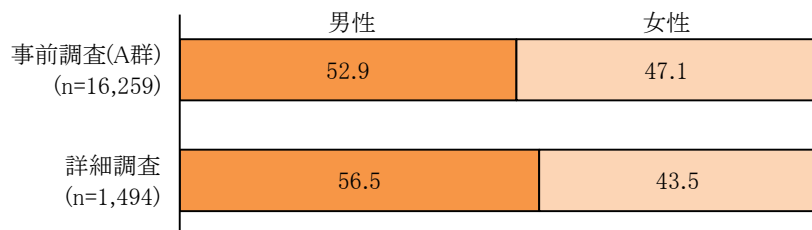
##### ② 起業家 (ゆるやかな起業家を除く)

(単位：%)



##### ③ 勤務者 (パート・アルバイトを含む)

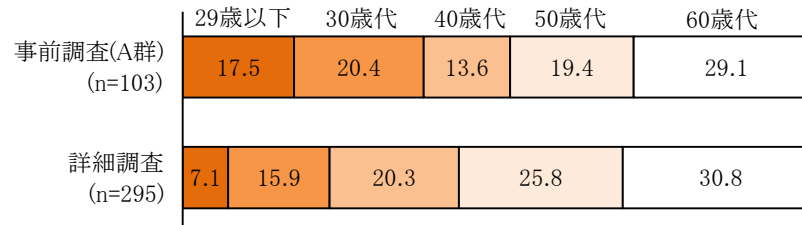
(単位：%)



#### (2) 調査時点の年齢

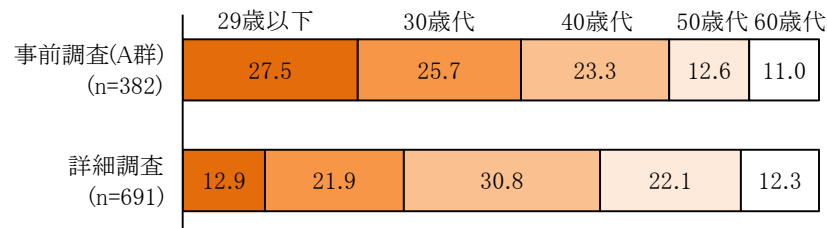
##### ① ゆるやかな起業家

(単位：%)



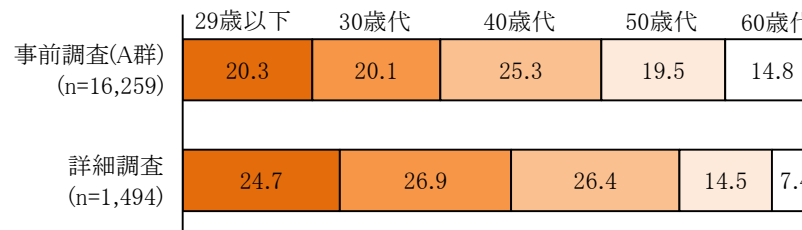
##### ② 起業家 (ゆるやかな起業家を除く)

(単位：%)



##### ③ 勤務者 (パート・アルバイトを含む)

(単位：%)



(注) 1 構成比は小数第2位を四捨五入して表記しているため、その合計が100%にならない場合がある (以下同じ)。

2 事前調査 (A群) の調査対象は、性別、年齢階層 (10歳きざみ)、地域ブロックの割合が人口構成に準拠するように、回収数を設定した。

### 4 ウェイトの設定 (詳細調査のサンプル)

詳細調査におけるゆるやかな起業家、その他の起業家、勤務者の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査 (A群) と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計にあたっては、事前調査 (A群) の性別・年齢別構成比に近似させるために、17ページに記載のとおりウェイト値を設定した。以下では、詳細調査の結果にウェイト値による重みづけを行った集計を示す。ただし、n値 (回答数) は参考として原数値を示す。

## II 調査結果

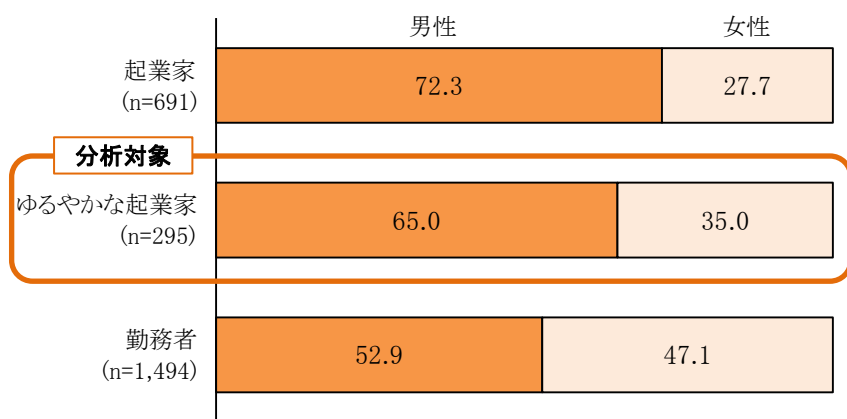
### 1 ゆるやかな起業家の属性

～女性やシニアの割合が相対的に高い～

- ゆるやかな起業家のうち「女性」の割合は、35.0%と勤務者（47.1%）を下回るが、その他の起業家（以下、起業家という。27.7%）と比べると高くなっている（図-1）。
- 「50歳代」以上の割合が相対的に高い（図-2）。特に、「60歳代」の割合は、29.1%と起業家（11.0%）や勤務者（14.8%）を大きく上回る。
- 3割以上が「現在も勤務している」が、その割合は起業家（44.1%）に比べて低い（図-3）。現在は勤務していない人のうち、起業直前の職業として最も多いのは「正社員・正職員」で、次いで「非正社員」「会社や団体の常勤役員」の順となっている。

図-1 性別

(単位：%)



(注) 比較対象の「起業家」には、「ゆるやかな起業家」を含まない（以下同じ）。

図-2 年齢

(単位：%)

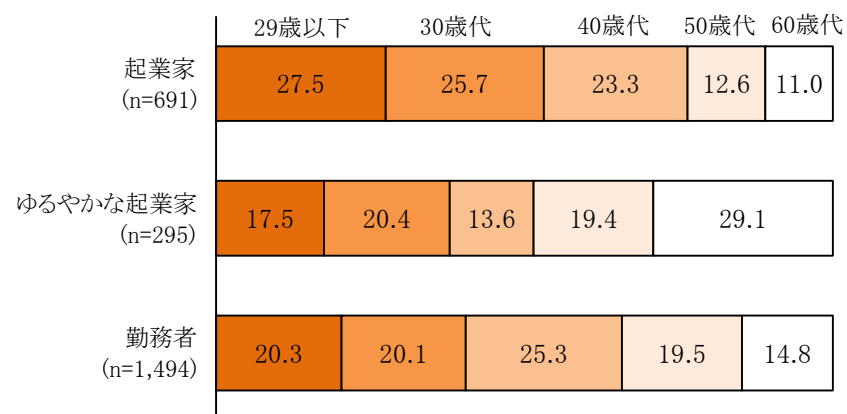
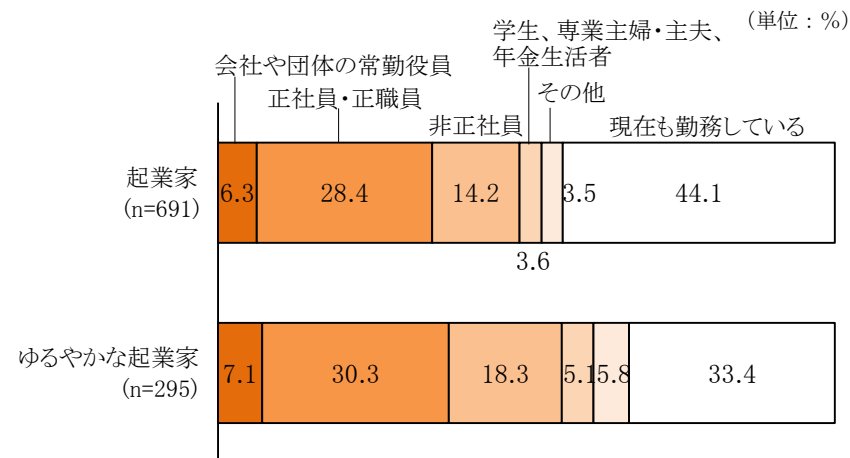
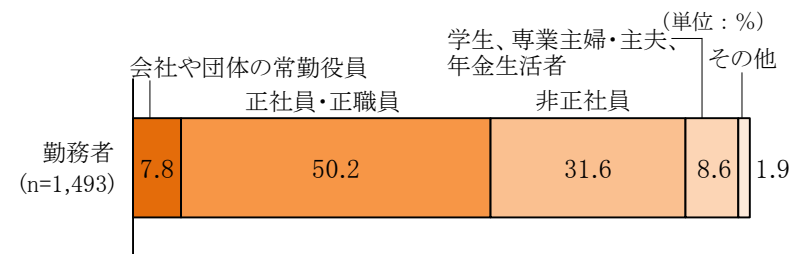


図-3 起業直前の職業

#### ① 起業直前の職業（起業家・ゆるやかな起業家）



#### ② 現在の職業（勤務者）



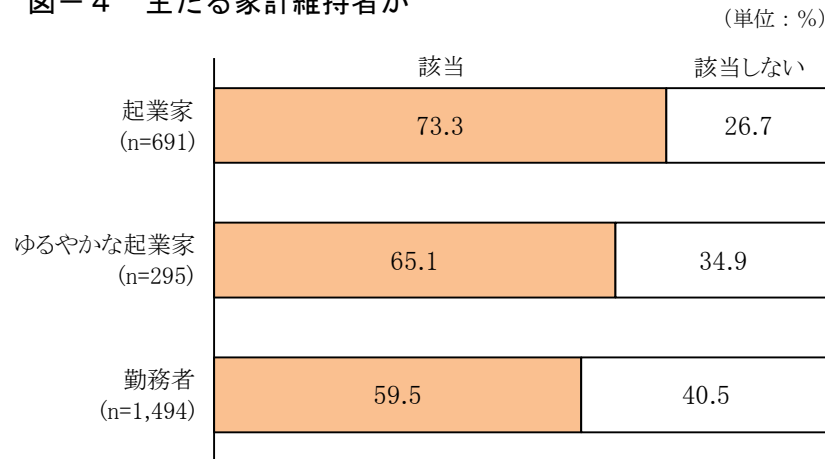
(注) 1 「非正社員」は「パート・アルバイト」「派遣社員・契約社員」。「その他」には「家族従業員」「無職」を含む。

2 勤務者には、「現在も勤務している」起業家は含まない。

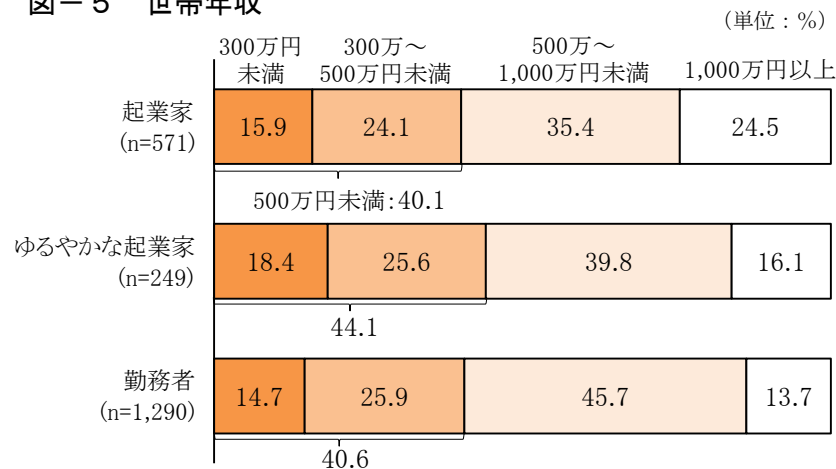
～主たる家計維持者である割合は、起業家に比べて低い～

- 主たる家計維持者である割合は、65.1%と勤務者（59.5%）に比べて高いが、起業家（73.3%）を下回る（図－4）。
- 世帯年収は、「500万～1,000万円未満」の割合が39.8%と最も高い（図－5）。500万円未満の割合は、44.1%と起業家（40.1%）や勤務者（40.6%）に比べて高い。
- 事業からの経営者本人の収入が世帯収入に占める割合は、「5%未満」が29.1%と、起業家（14.0%）に比べて高い（図－6①）。
- 同じく経営者本人の定期的な収入に占める割合が「5%未満」の割合は、17.7%と起業家（9.7%）に比べて高い（図－6②）。「50%未満」である割合は、44.7%と約半数を占める。

図－4 主たる家計維持者か



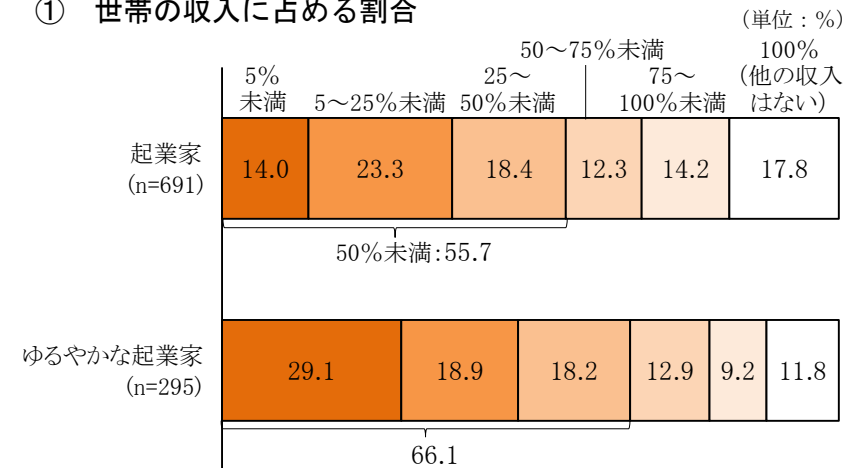
図－5 世帯年収



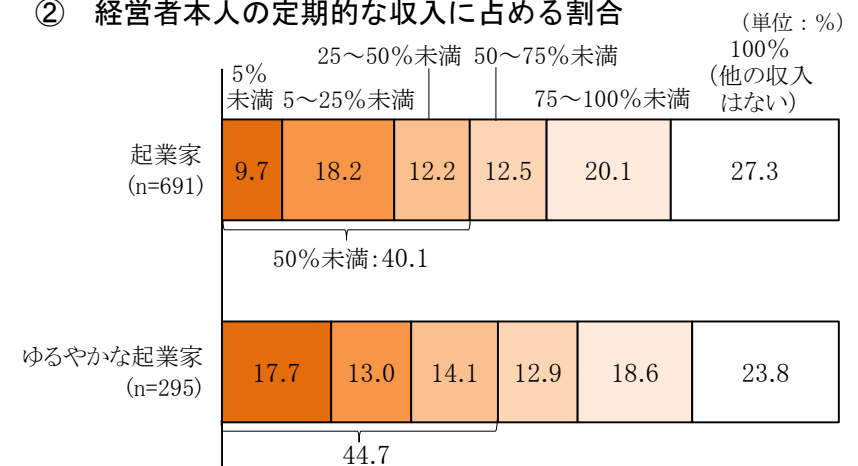
(注) 「わからない」「答えたくない」と回答した人を除いて集計した。

図－6 事業からの経営者本人の収入

① 世帯の収入に占める割合



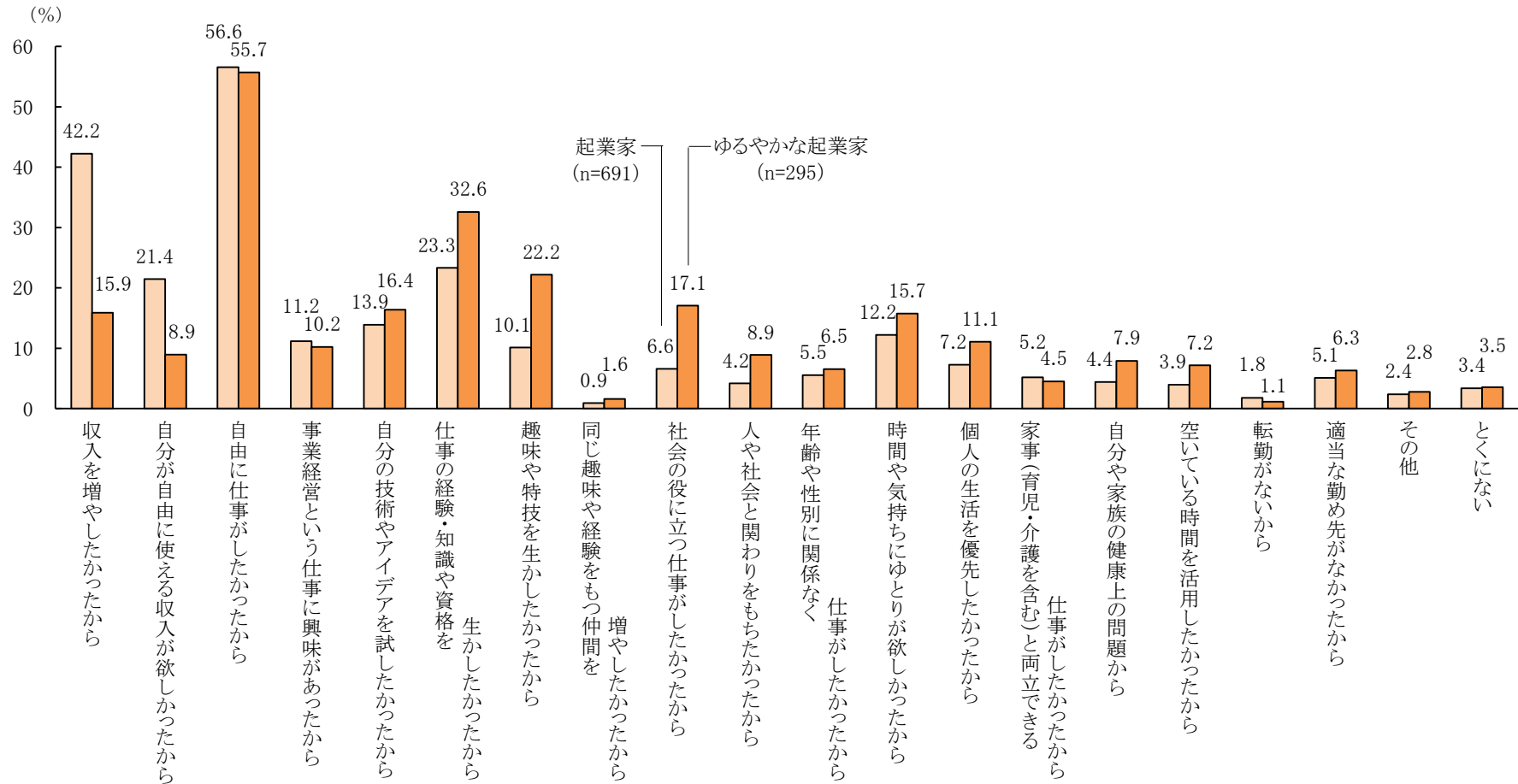
② 経営者本人の定期的な収入に占める割合



～「自由に仕事がしたかったから」起業した人が多い～

- 起業動機は、「自由に仕事がしたかったから」が55.7%と最も多く、「仕事の経験・知識や資格を生かしたかったから」が32.6%と続いている（図-7）。
- 起業家と比べると、「収入を増やしたかったから」（15.9%）や「自分が自由に使える収入が欲しかったから」（8.9%）など、収入に関する項目の回答割合が低い。一方で、「趣味や特技を生かしたかったから」（22.2%）や「社会の役に立つ仕事がしたかったから」（17.1%）などの割合が、相対的に高くなっている。

図-7 起業動機（三つまでの複数回答）



## 2 事業の状況

～従業員規模は相対的に小さい～

- 業種は、「消費者向けサービス業」（17.5%）、「事業所向けサービス業」（16.4%）、「小売業」（11.8%）の順に多い（表）。そのうち、「事業所向けサービス業」「小売業」の割合は、起業家と比べて高い。
- 現在の従業員数は、「1人（本人のみ）」が74.8%と最も多く、その割合は起業家（63.3%）に比べて高い（図-8）。
- 平均月商が「20万円未満」である割合は、52.3%と起業家（29.0%）を大きく上回る（図-9）。

表 業種構成

	(単位：%)	
	起業家 (n=665)	ゆるやかな起業家 (n=276)
建設業	7.3	5.1
製造業	6.2	5.7
情報通信業	8.5	7.4
運輸業	2.6	3.9
卸売業	3.8	2.3
小売業	9.7	11.8
飲食店・宿泊業	6.2	6.1
医療・福祉	7.0	8.9
教育・学習支援業	7.9	5.8
消費者向けサービス業	19.2	17.5
事業所向けサービス業	11.2	16.4
不動産業、物品賃貸業	9.3	6.7
その他	1.3	2.4

(注) 1 事業の内容に最も近いと思う業種を尋ねている。  
2 網掛けは、起業家と比べて構成比が高い業種。

図-8 現在の従業員規模

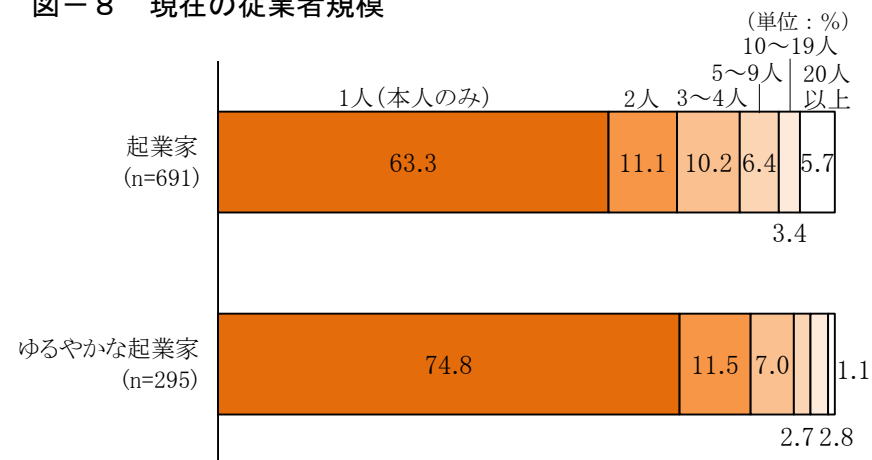
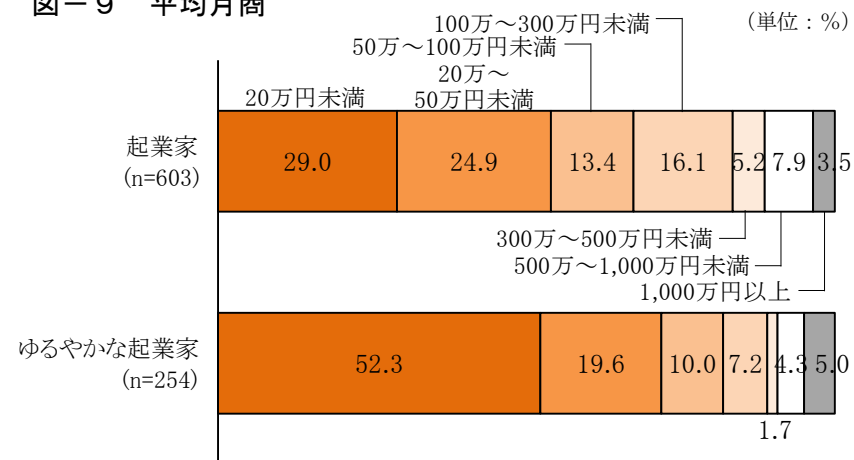


図-9 平均月商



(注) 図-5 (注) に同じ。

～低コストで起業した人が多い～

- 起業費用は、「かからなかった」割合が28.1%と最も高い(図-10)。「100万円未満」の割合は、42.3%と起業家(34.5%)に比べて高く、少額で起業した人が多い。
- 起業費用に占める自己資金の割合は、「100%(自己資金のみ)」が73.0%と起業家(62.4%)を上回る(図-11)。自己資金割合が低くなるほど、回答割合も低くなっている。
- 起業時に金融機関から借入をした割合は、8.7%と起業家(19.8%)の半分以下となっている(図-12)。

図-10 起業費用

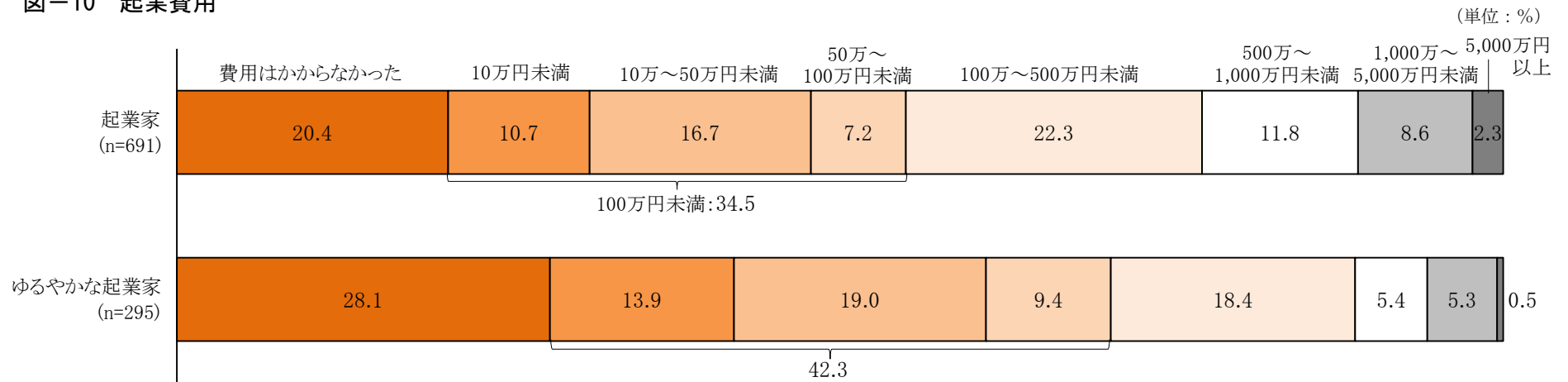


図-11 起業費用に占める自己資金割合

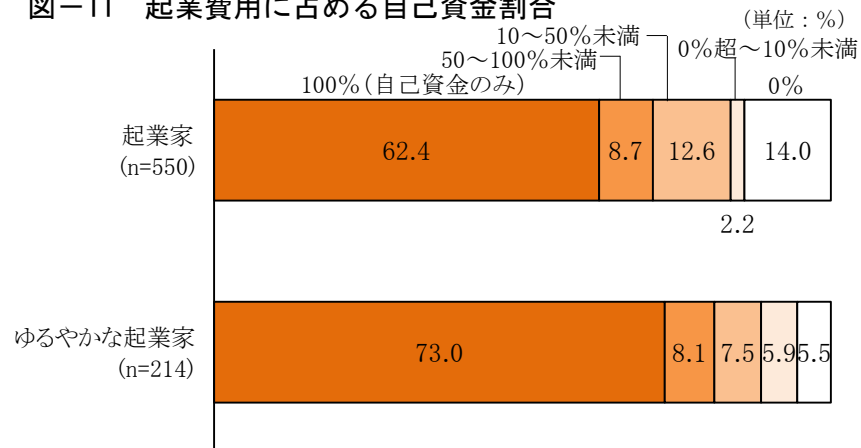
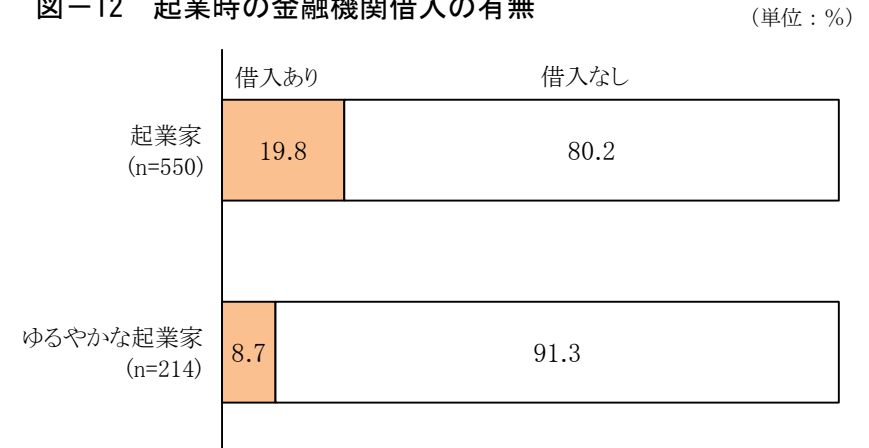


図-12 起業時の金融機関借入の有無



(注) 起業費用がかかったと回答した人を集計した。

(注) 1 金融機関借入とは、民間金融機関(地方自治体の制度融資を含む)および日本政策金融公庫・沖縄振興開発金融公庫からの借入である  
2 図-11(注)に同じ。



～起業前と比べて労働時間は短縮～

- 主な事業所が「自宅の一室」である、または「自宅に併設」している割合は、75.5%と起業家（59.1%）に比べて高い（図-13）。
- 事業に係る1週間当たりの労働時間は、「5時間未満」が17.1%と最も多い（図-14）。「30時間未満」の割合が約6割を占め、労働時間は起業家に比べて短い。
- 起業前と比べて労働時間が「減少した」割合は、43.7%と起業家（30.0%）と比べて高い（図-15）。
- 7割以上が、仕事や作業を行う時間帯を「通常は自分の意向で決められる」と回答している（図-16）。一方で、「通常は発注者の意向に従う」とする割合は、11.1%と起業家（18.7%）に比べて低く、比較的裁量が大きいといえる。

図-13 主な事業所までの通勤時間（片道）

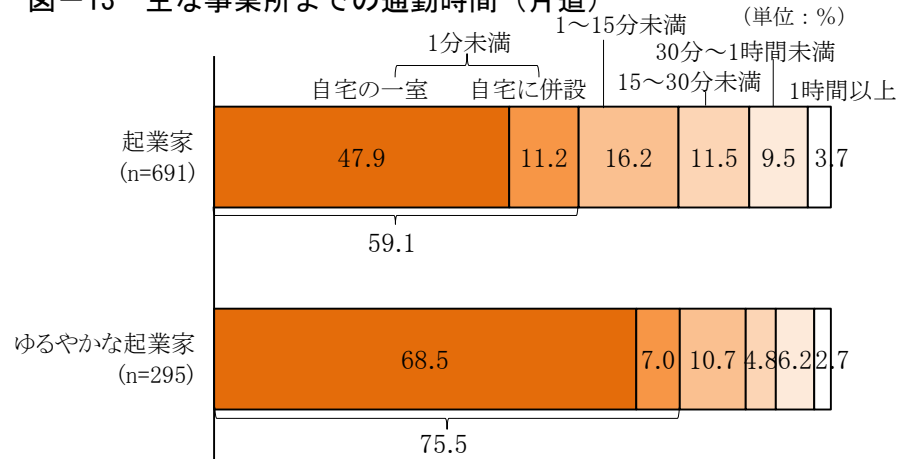


図-15 起業前と比べた労働時間

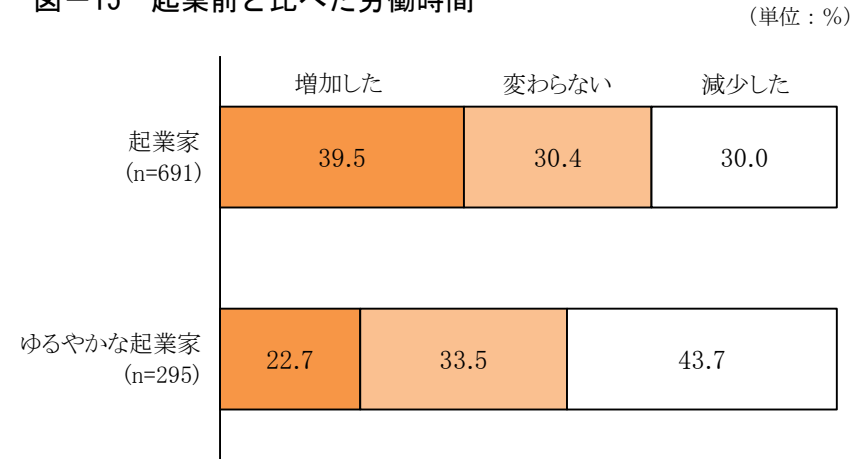


図-14 1週間当たりの労働時間

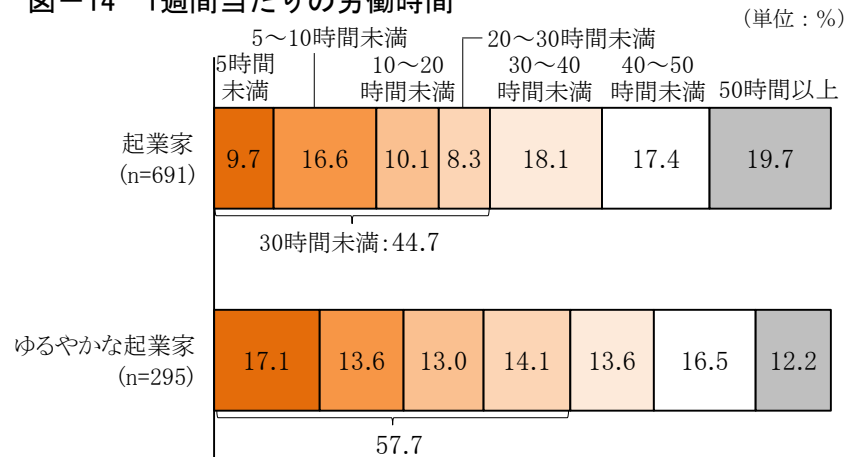
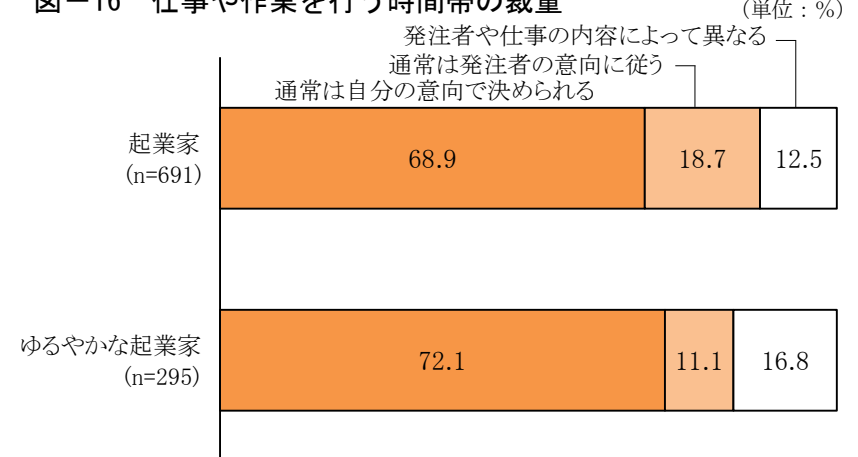


図-16 仕事や作業を行う時間帯の裁量

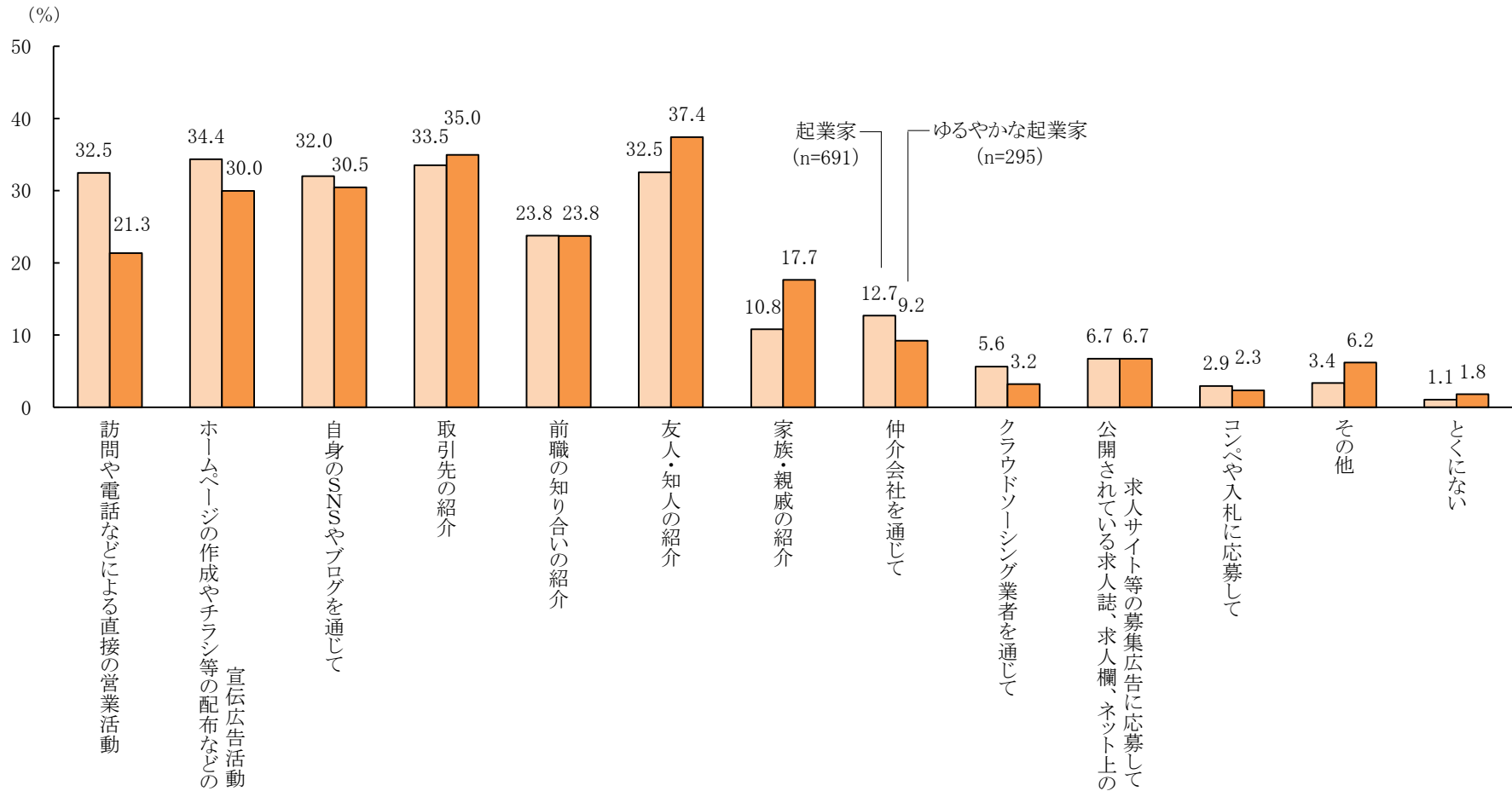


（注）事業に係る労働時間は含まない。

～仕事の受注には、自身のネットワークを生かしている～

- 仕事の受注経路は、「友人・知人の紹介」が37.4%と最も高く、次いで「取引先の紹介」(35.0%)、「自身のSNSやブログを通じて」(30.5%)の順となっている(図-17)。
- 起業家と比べると、「訪問や電話などによる直接の営業活動」(21.3%)や「ホームページの作成やチラシ等の配布などの宣伝広告活動」(30.0%)などの割合が低い。一方で、「家族・親戚の紹介」(17.7%)や「友人・知人の紹介」などの割合は高くなっている。

図-17 受注経路(複数回答)



～業況は「良くも悪くもない」が半数以上～

- 現在の売上状況については、「横ばい」との回答割合が59.6%と大半を占める（図-18）。「増加傾向」は24.4%と、起業家（39.4%）に比べて低い。
- 現在の採算状況が「黒字基調」の割合は、64.7%と起業家（74.7%）に比べて低い（図-19）。
- 起業前と比べて収入が「増加した」割合は、27.5%と起業家（47.1%）を下回り、40.1%が「減少した」と回答している（図-20）。
- 現在の業況については、半数以上が「良くも悪くもない」と回答している（図-21）。「良い」との割合は26.7%と起業家（43.5%）を下回るが、「悪い」（18.4%）は起業家（17.9%）と同程度にとどまる。

図-18 現在の売上状況

(単位：%)

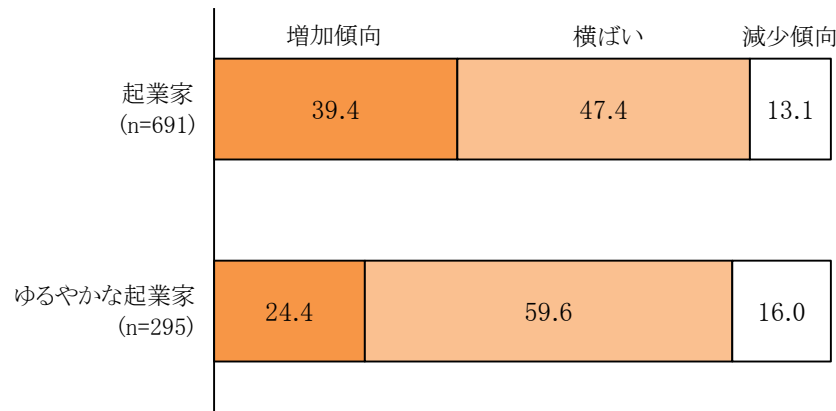


図-20 起業前と比べた収入

(単位：%)

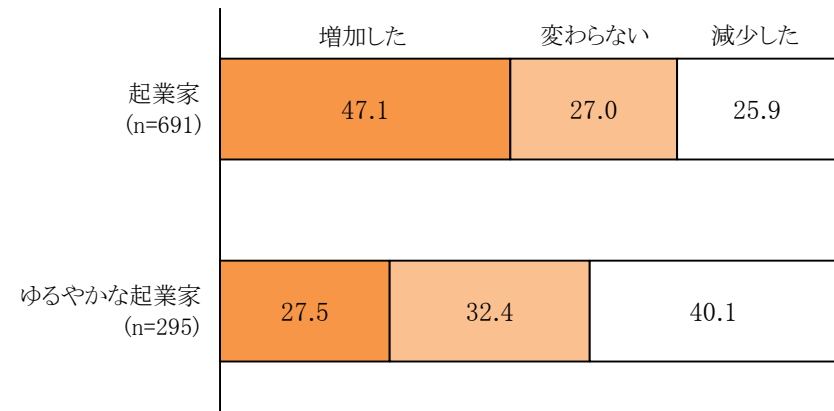


図-19 現在の採算状況

(単位：%)

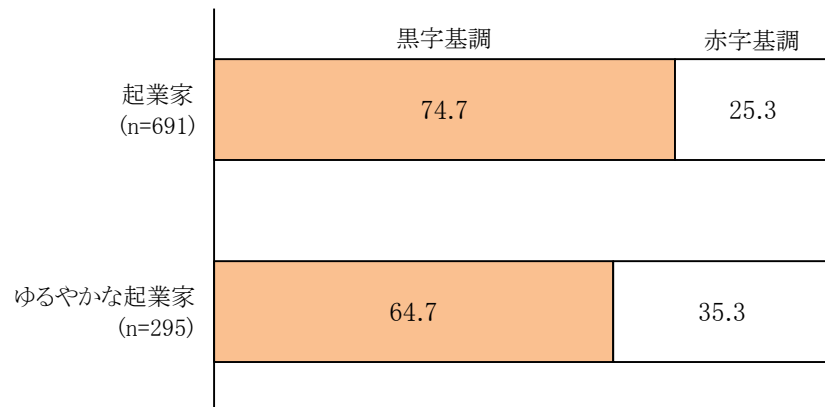
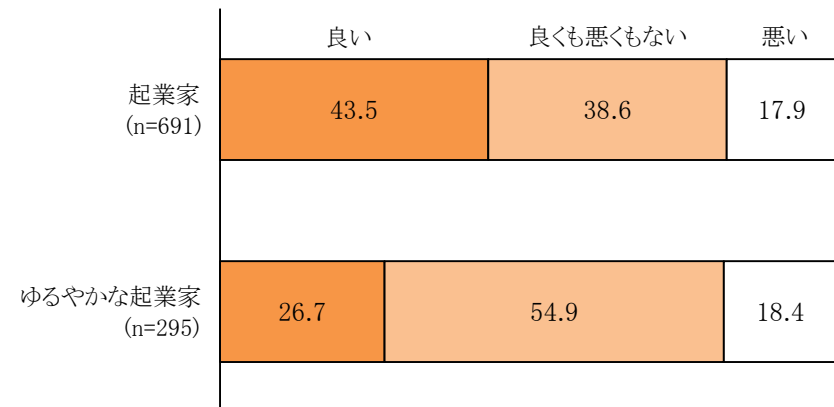


図-21 現在の業況

(単位：%)



(注) 「良い」「やや良い」を合算して「良い」、「悪い」「やや悪い」を合算して「悪い」と表示した。

～拡大志向は弱いが、自分で続けられる間は事業を継続したいと考える人が大半～

- 今後の売上高を「増やす」と回答した割合は、51.1%と起業家（77.6%）を20%ポイント以上下回る（図-22）。「どちらでも構わない」とする人が45.6%を占めている。
- 今後の従業員数の増減についても、86.4%が「どちらでも構わない」と回答しており、「増やす」は11.8%にとどまる（図-23）。
- 事業がうまくいかなかった場合に「困る」と考える人は、54.7%と起業家（83.0%）に比べて大幅に少ない（図-24）。
- 事業の継続については、「自分で続けられる間は続けたい」との回答割合が63.9%と最も高い（図-25）。「承継したい」割合は、12.8%と起業家（27.1%）に比べて低い。

図-22 今後の売上高

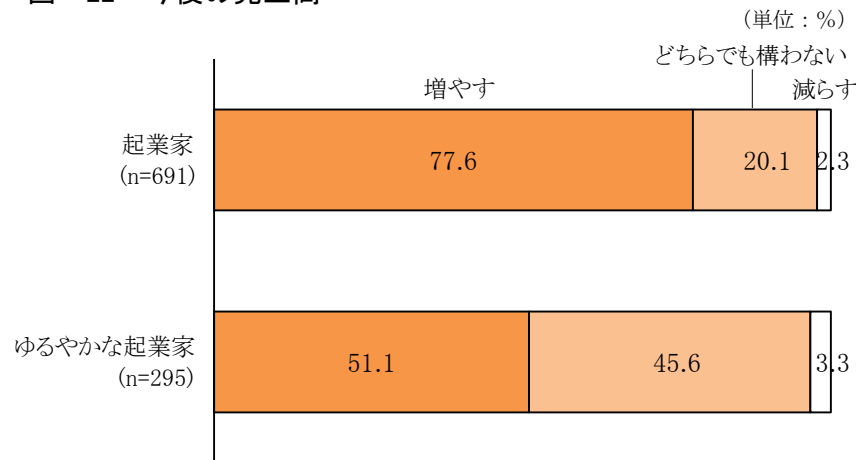


図-24 事業がうまくいかなかった場合どう感じるか

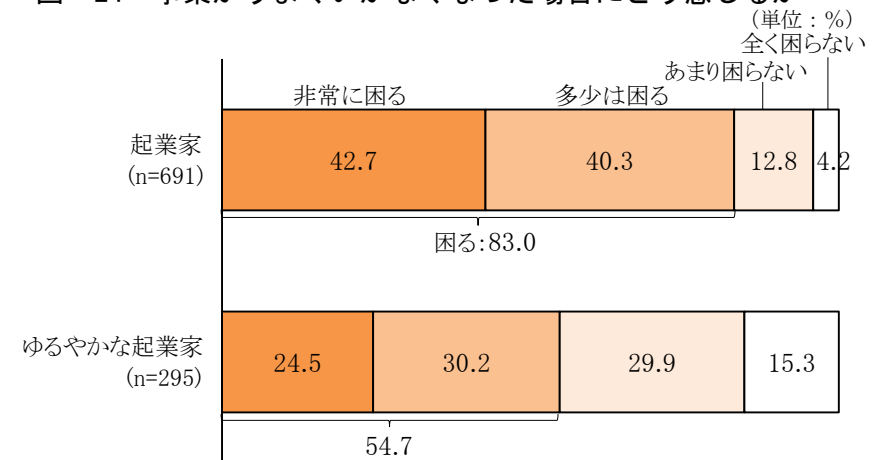


図-23 今後の従業員数

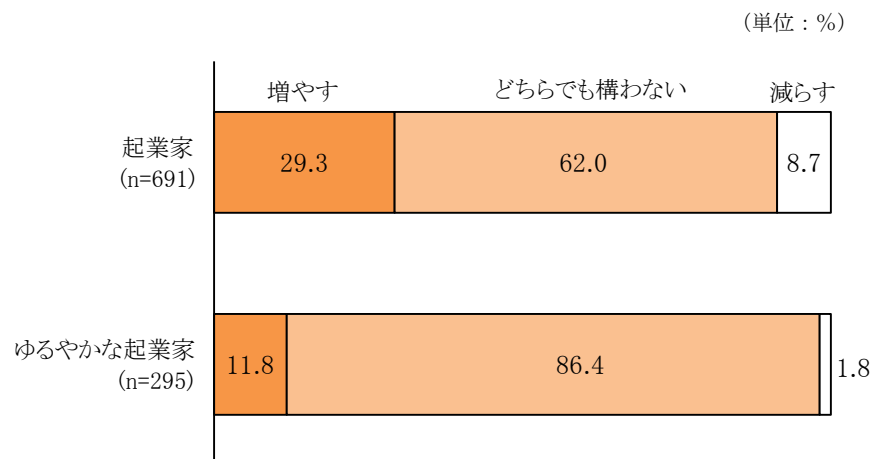
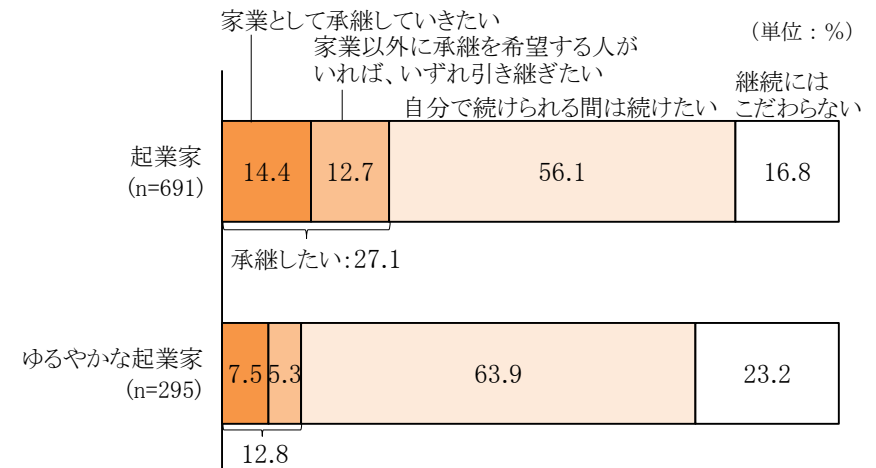


図-25 事業の継続

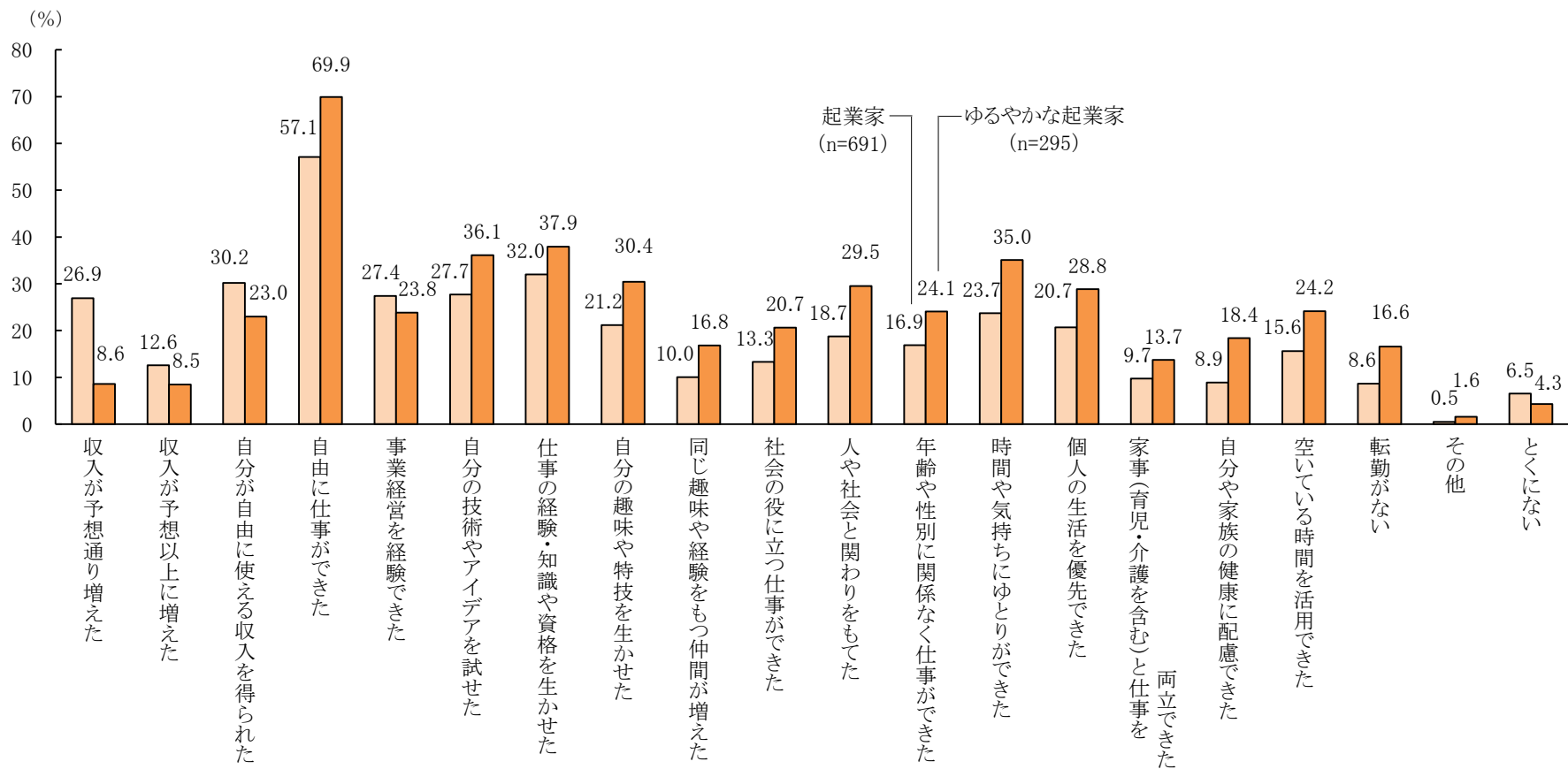


### 3 起業に対する評価

～起業してよかったことは「自由に仕事ができる」が最も多い～

- 起業してよかったこととしては、「自由に仕事ができる」が69.9%と最も多い（図-26）。次いで「仕事の経験・知識や資格を生かした」（37.9%）、「自分の技術やアイデアを試せた」（36.1%）の順となっている。
- 「自由に仕事ができる」割合は、起業家（57.1%）と比べても高い。そのほか、「時間や気持ちにゆとりができた」（35.0%）や「人や社会と関わりをもてた」（29.5%）などが、起業家の割合を上回っている。一方で、「収入が予想通り増えた」（8.6%）や「自分が自由に使える収入を得られた」（23.0%）、「収入が予想以上に増えた」（8.5%）などの割合は、起業家に比べて低い。

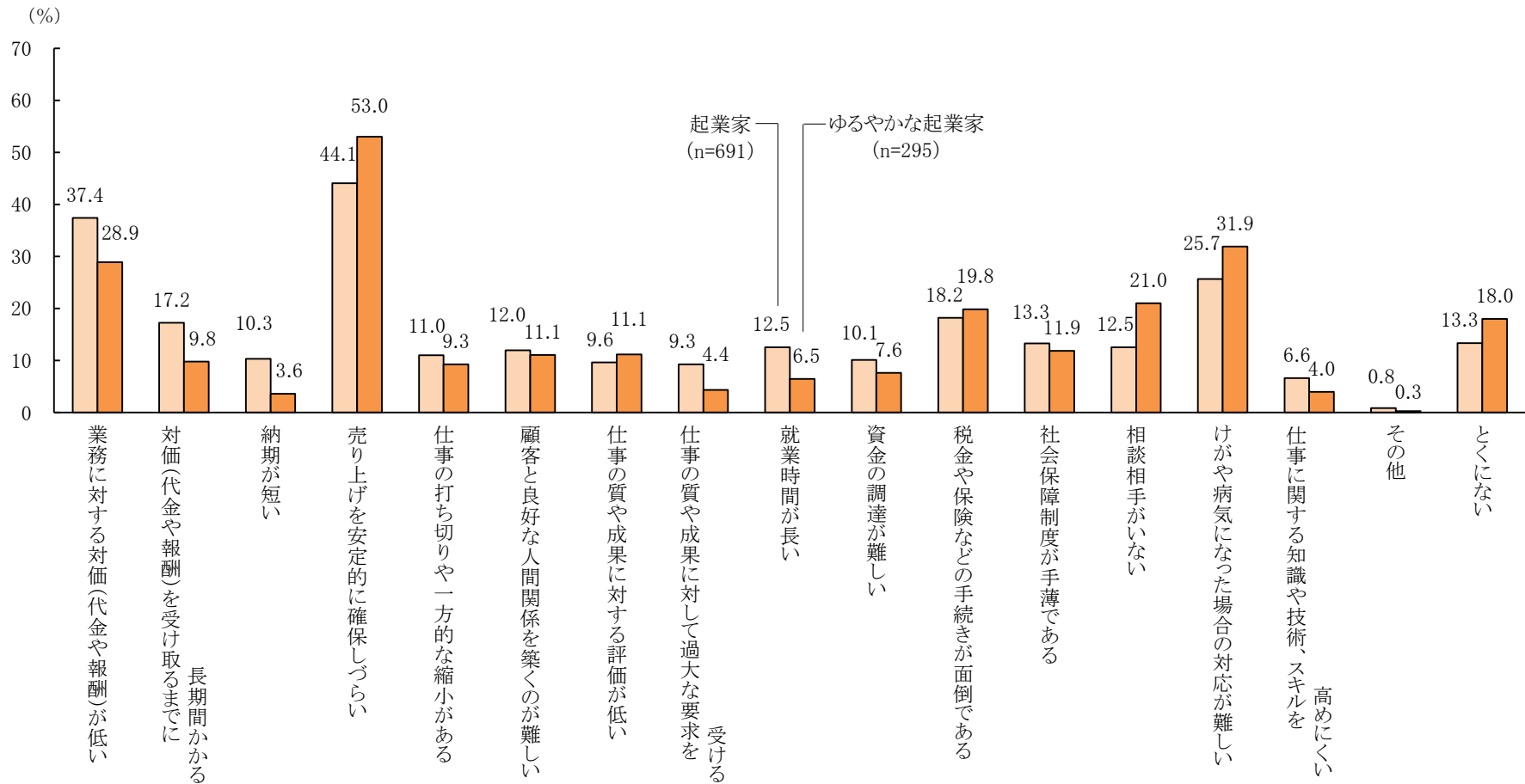
図-26 起業してよかったこと（複数回答）



～「売上げの安定的な確保」や「けがや病気になった場合の対応」が課題～

- 事業を行ううえで問題だと感じていることは、「売上げを安定的に確保しづらい」が53.0%と最も多く、「けがや病気になった場合の対応が難しい」が31.9%と続く（図-27）。
- これらの割合は、起業家と比べても高い。そのほか、「相談相手がない」（21.0%）などが起業家の割合を上回っている。一方で、「業務に対する対価（代金や報酬）が低い」（28.9%）や「対価（代金や報酬）を受け取るまでに長期間かかる」（9.8%）、「納期が短い」（3.6%）などの割合は、起業家に比べて低い。

図-27 事業を行ううえで問題だと感じていること（複数回答）

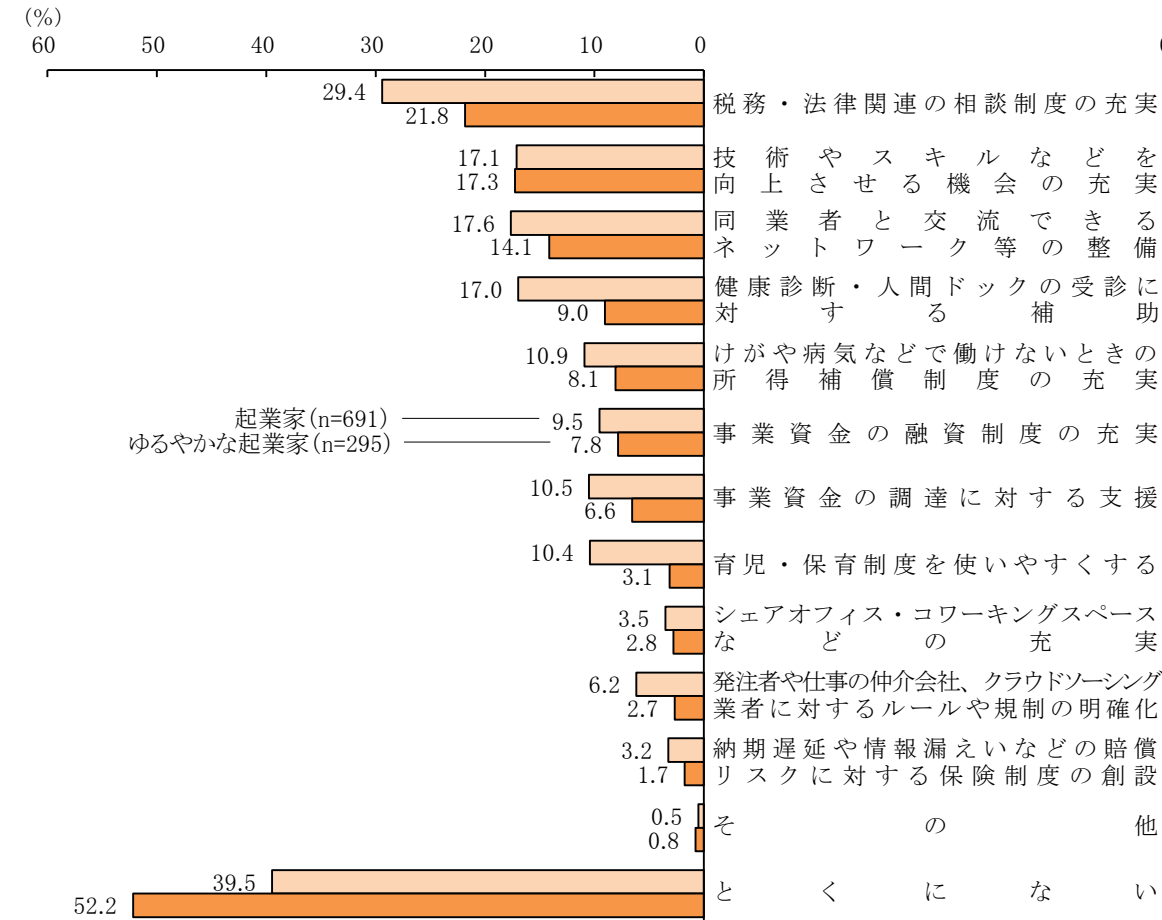


～「税務・法律関連の相談制度の充実」を望む人が多い～

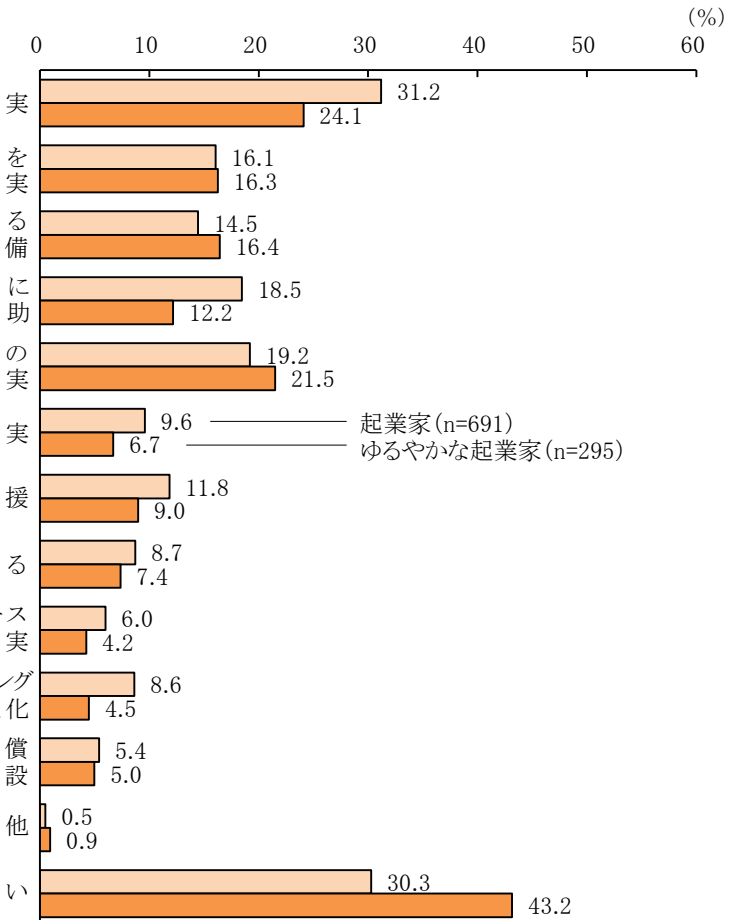
- 起業の際に役立った支援は、「とくにない」との回答が52.2%と大半を占め、起業家（39.5%）に比べて多い（図-28①）。次いで「税務・法律関連の相談制度の充実」が21.8%、「技術やスキルなどを向上させる機会の充実」が17.3%と続いている。
- 今後、事業を継続するために必要だと思う支援についても、「とくにない」が43.2%と最も多く、次いで「税務・法律関連の相談制度の充実」（24.1%）の順となっている（図-28②）。「けがや病気などで働けないときの所得補償制度の充実」が、21.5%と起業の際（8.1%）から10%ポイント以上増加し3番目になっており、起業家の割合と比べても高くなっている。そのほか、「同業者と交流できるネットワーク等の整備」（16.4%）などが、起業家の割合を上回っている。

図-28 支援について（複数回答）

① 起業の際に役立った支援



② 今後、事業を継続するために必要だと思う支援



～満足度は総じて高い～

- 収入に関して「満足」している割合は、24.0%と起業家（36.7%）を下回り、勤務者（24.5%）と同程度となっている（図-29）。
- 仕事のやりがいに「かなり満足」と回答した割合は、30.6%と起業家（21.5%）や勤務者（5.3%）に比べて高い（図-30）。
- 私生活（休暇や家族との過ごし方）に関しては、「かなり満足」している割合が27.3%と、起業家（16.8%）や勤務者（9.3%）に比べて高い水準となっている（図-31）。
- 総合的な満足度は、「満足」が69.3%と、起業家（56.1%）や勤務者（41.0%）に比べて高い（図-32）。

図-29 収入に関する満足度

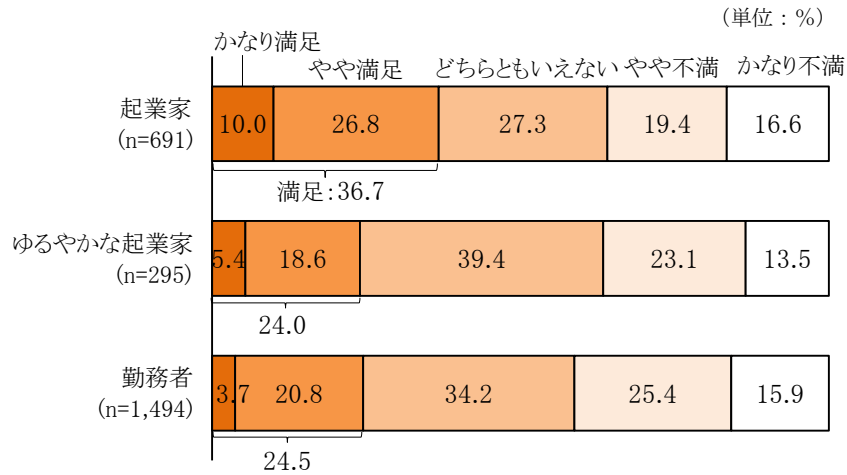


図-31 私生活（休暇や家族との過ごし方）に関する満足度

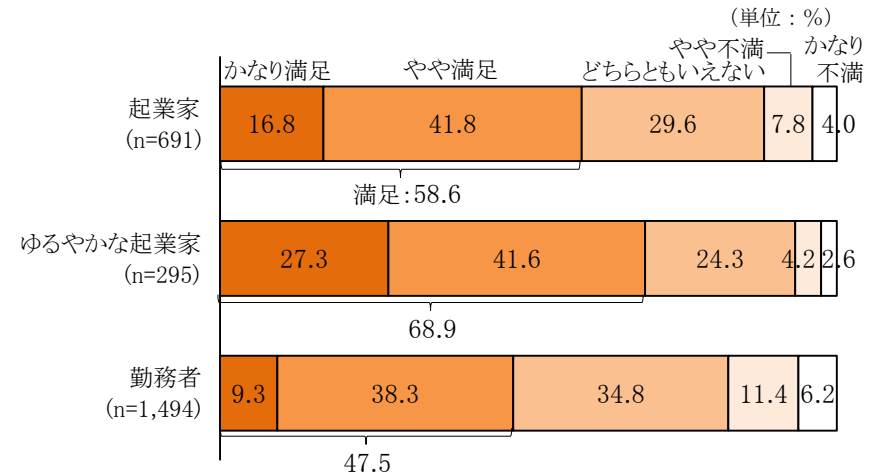


図-30 仕事のやりがいに関する満足度

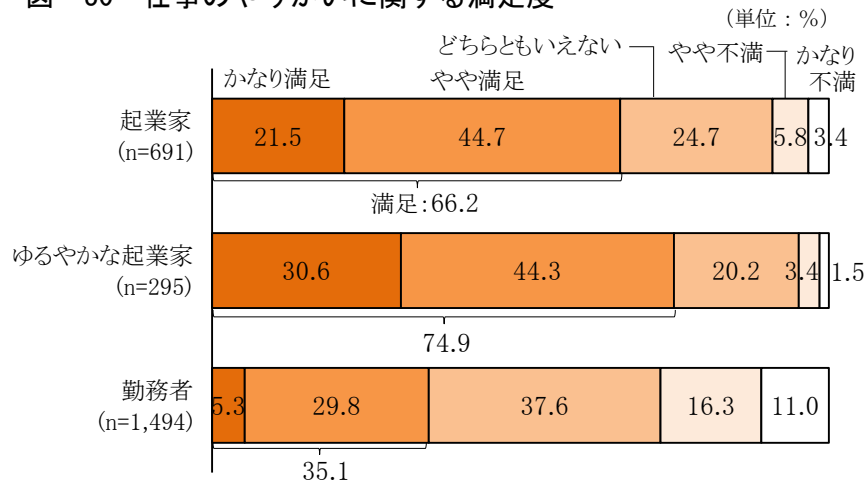
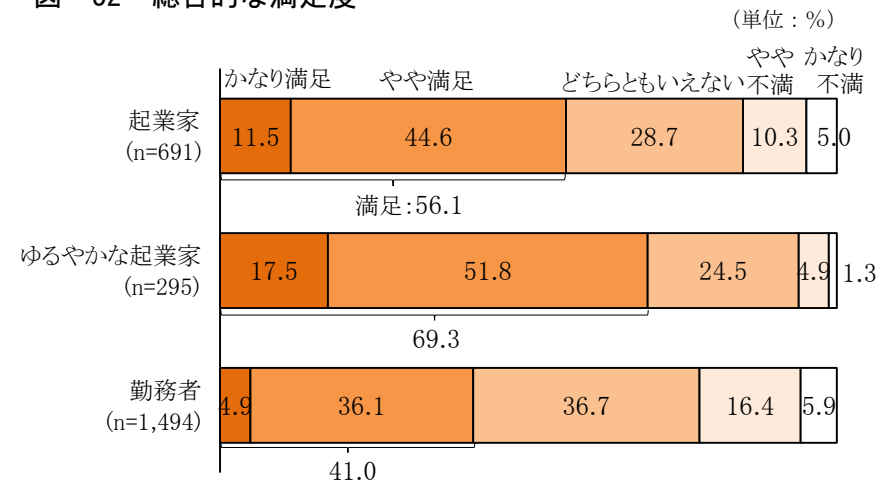


図-32 総合的な満足度





### Ⅲ まとめ

#### ～ゆるやかな起業家について～

##### ○ その他の起業家に比べて女性やシニアの割合が高い (p.3)

性別にみると、「女性」の割合が35.0%と、その他の起業家 (27.7%) に比べて高くなっている (図-1)。また、年齢別にみると、「50歳代」以上の割合が相対的に高く、特に「60歳代」が約3割と高い (図-2)。

##### ○ 従業者規模は小さく、月商も相対的に低い (p.4、6)

従業者規模が「1人 (本人のみ)」の割合は、74.8%とその他の起業家 (63.3%) と比べて高い (図-8)。また、半数以上の平均月商が「20万円未満」で、その割合はその他の起業家 (29.0%) を大きく上回る (図-9)。75%以上が事業以外からも収入を得ており、また、世帯収入に占める事業収入の割合も、「50%未満」が66.1%となっている (図-6)。

##### ○ 起業前と比べて労働時間は短縮 (p.8)

75%以上が、「自宅の一室」または「自宅に併設」した場所を主な事業所としており、その割合はその他の起業家 (59.1%) と比べて高い (図-13)。1週間当たりの労働時間が30時間未満の割合は57.7%で、43.7%が起業前と比べて労働時間が「減少した」と回答している (図-14、15)。

##### ○ 自身のネットワークを生かして仕事を受注 (p.9)

仕事を受注経路として最も多く挙げた回答は「友人・知人の紹介」 (37.4%) で、その割合はその他の起業家 (32.5%) と比べても高い (図-17)。そのほか、「家族・親戚の紹介」 (17.7%) などが相対的に高い。一方で、「訪問や電話などによる直接の営業活動」 (21.3%) などの割合は、相対的に低い。

##### ○ 事業がうまくいかなくなっても困らない人のほうが多い (pp.10-11)

現在の売上状況が「増加傾向」の割合は、24.4%とその他の起業家 (39.4%) と比べて低い (図-18)。一方で、業況を「悪い」と感じている割合は18.4%と、その他の起業家 (17.9%) と同程度にとどまる (図-21)。事業がうまくいかなかった場合も「困る」とする割合は54.7%で、その他の起業家の83.0%を大きく下回る (図-24)。

##### ○ 「売上げの安定的な確保」や「けがや病気になった場合の対応」が課題 (p.11、pp.13-14)

事業の承継を考える人は少なく、「自分で続けられる限りは続けたい」という人が63.9%と大半を占める (図-25)。事業を行ううえでの問題としては「売上げを安定的に確保しづらい」 (53.0%) に次いで「けがや病気になった場合の対応が難しい」 (31.9%) の割合が高く、事業継続のために「けがや病気などで働けないときの所得補償制度の充実」を望む人も多い (図-27、28②)。

##### ○ 満足度は総じて高い (p.15)

収入に関する満足度は低いが、仕事のやりがいや私生活に関する満足度はその他の起業家や勤務者に比べて高く、総合的な満足度も「満足」が69.3%と、その他の起業家 (56.1%) や勤務者 (41.0%) を上回る (図-29～32)。

(参考) ウェイト値の設定について

詳細調査におけるゆるやかな起業家、その他の起業家、勤務者の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査（A群）と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計にあたっては、事前調査（A群）の性別・年齢別構成比に近似させるために、ウェイト値を設定した。その算出方法は次のとおりである。

①事前調査(A群)の回答数 (単位:人)

	ゆるやかな起業家		その他の起業家		勤務者	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	10	8	78	27	1,730	1,577
30歳代	13	8	66	32	1,763	1,512
40歳代	7	7	57	32	2,207	1,906
50歳代	13	7	37	11	1,657	1,507
60歳代	24	6	38	4	1,242	1,158
全 体	103		382		16,259	

②詳細調査の回答数

	ゆるやかな起業家		その他の起業家		勤務者	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	10	11	64	25	176	193
30歳代	27	20	100	51	246	156
40歳代	37	23	158	55	232	163
50歳代	58	18	130	23	126	91
60歳代	83	8	81	4	64	47
全 体	295		691		1,494	

③ウェイト(①÷②)

	ゆるやかな起業家		その他の起業家		勤務者	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	1.000	0.727	1.219	1.080	9.830	8.171
30歳代	0.481	0.400	0.660	0.627	7.167	9.692
40歳代	0.189	0.304	0.361	0.582	9.513	11.693
50歳代	0.224	0.389	0.285	0.478	13.151	16.560
60歳代	0.289	0.750	0.469	1.000	19.406	24.638